

国内営業基盤の拡充

有効性を見極めた拠点戦略で、 さらに充実したネットワークを構築していきます。

当社グループは、長期ビジョン「BULL55」の重点施策の一つとして「国内営業基盤の拡充」に取り組んでいます。北海道、東北地区の売上を維持しながら、官民の需要が集中する首都圏などの大都市圏のほか、関東以西の未出店エリアを中心に拠点展開を実施、さらにM&Aを推進するなど成長軌道の維持に努めています。

当社単体の国内営業拠点数は第50期（2014年10月期）から第54期（2018年10月期）第2四半期までに23拠点を新設し192拠点に、アライアンスグループでは同じく136拠点増加の473（海外含め486）拠点になるなど、着実に営業基盤の拡充を推進しています。また本年7月には、カナモトとして初となる九州地区への2拠点同時オープンを予定、さらに充実した拠点網の構築を目指しています。

国内営業拠点数の推移 ※海外拠点除く

	第50期	第54期 第2四半期	増減数
カナモト単体	169	192	23拠点増
アライアンスグループ	337	473	136拠点増

営業所開設MAP

- 第53期（2017年10月期）開設
- 第54期（2018年10月期）開設



第54期第2四半期決算の概況 [2017年11月1日～2018年4月30日]

● 連結経営成績 (累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)
第54期第2四半期	85,349 (7.8)	10,994 (10.0)	11,155 (8.9)	6,735 (4.1)	190.59
第53期第2四半期	79,210 (15.4)	9,993 (16.1)	10,242 (24.2)	6,468 (30.2)	183.03

● 連結業績予想 (累計)

第54期通期	161,870 (2.2)	17,330 (4.0)	17,420 (1.3)	10,900 (1.4)	308.44
--------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率 (%) を示しております。

【経営環境】

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、海外経済の不確実性や地政学リスクの高まりがあったものの、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資の下支えに加え、堅調な企業の設備投資や首都圏を中心とした再開発事業、東京五輪関連工事などを中心に穏やかに増加するなど、底堅く推移しました。

このような状況のなか、当社グループの第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は853億49百万円（前年同期比7.8%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は109億94百万円（同10.0%増）、経常利益は111億55百万円（同8.9%増）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は67億35百万円（同4.1%増）となりました。

【セグメント別の業績】

建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、中長期計画に従い首都圏や西日本エリアの空白地域を中心に拠点展開

を進める一方で、トンネル関連工事向けの機械の充実を図るなど、グループとしての強みを活かせる事業領域への施策強化と事業基盤の整備に取り組みました。

また、引続き災害復旧・復興活動に対する支援体制を維持するとともに、既存のレンタル用資産のさらなる稼働率の向上を図るため、その再配置も積極的に推進しました。

計画的に進めている中古建機販売につきましては、良好な市況環境を背景に順調に推移いたしました。

以上の結果、建設関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は767億82百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は103億55百万円（同11.8%増）となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連、福祉関連ともに堅調に推移したことから、売上高は85億67百万円（前年同期比20.5%増）、一方営業利益につきましては鉄鋼関連の工事売上が減少したこともあり4億44百万円（同16.7%減）となりました。

■ 連結財務諸表

四半期連結損益計算書(第2四半期連結累計期間)

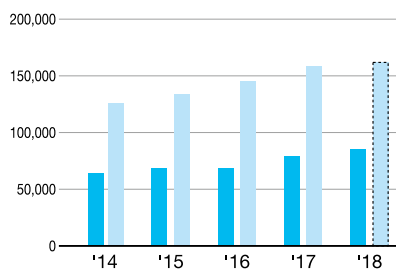
(単位:百万円)	第53期第2四半期 (2016.11.1~2017.4.30)	第54期第2四半期 (2017.11.1~2018.4.30)
① 売上高	79,210	85,349
売上原価	53,718	58,052
売上総利益	25,492	27,297
販売費及び一般管理費	15,499	16,303
② 営業利益	9,993	10,994
営業外収益	481	376
営業外費用	231	215
③ 経常利益	10,242	11,155
特別利益	200	12
特別損失	91	234
税金等調整前四半期純利益	10,351	10,933
法人税、住民税及び事業税	3,547	3,724
法人税等調整額	△ 197	△ 86
四半期純利益	7,001	7,296
非支配株主に帰属する四半期純利益	533	561
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	6,468	6,735

四半期連結包括利益計算書(第2四半期連結累計期間)

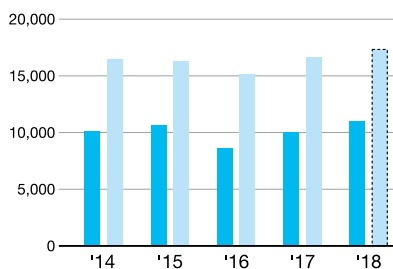
(単位:百万円)	第53期第2四半期 (2016.11.1~2017.4.30)	第54期第2四半期 (2017.11.1~2018.4.30)
四半期純利益	7,001	7,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	△ 127
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
為替換算調整勘定	△ 41	4
退職給付に係る調整額	△ 0	△ 0
その他の包括利益合計	51	△ 124
四半期包括利益	7,053	7,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,512	6,616
非支配株主に係る四半期包括利益	540	555

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

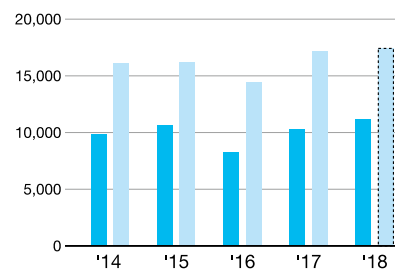
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第53期 (2017.10.31)	第54期第2四半期 (2018.4.30)
(資産の部)		
流動資産	90,772	99,060
固定資産	136,772	143,907
有形固定資産	124,286	129,518
無形固定資産	1,596	1,678
投資その他の資産	10,889	12,710
⑤ 資産合計	227,545	242,968
(負債の部)		
流動負債	71,521	78,672
固定負債	64,234	66,594
負債合計	135,756	145,266
(純資産の部)		
株主資本	83,612	89,110
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	57,172	62,670
自己株式	△ 2,129	△ 2,129
その他の包括利益累計額	2,629	2,510
その他有価証券評価差額金	2,538	2,415
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	85	90
退職給付に係る調整累計額	5	4
非支配株主持分	5,547	6,080
⑥ 純資産合計	91,788	97,701
負債純資産合計	227,545	242,968

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第53期第2四半期 (2017.11.1~2017.4.30)	第54期第2四半期 (2017.11.1~2018.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,114	22,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,409	△ 4,562
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,627	△ 13,250
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,084	4,903
現金及び現金同等物の期首残高	33,069	35,160
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,154	40,063

とってもいいモノ・読者プレゼント

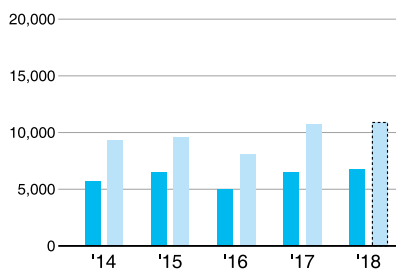
巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で100名様に当社のオリジナルノベルティグッズをお贈りします。

今号のプレゼントは、カナモト坊やのハンドタオルです。吸水性に優れており、サイズも250×250mmと小さめで持ち運びにも便利です。汗や水をサッと拭き取れるため、1年を通じてさまざまな用途でお使いいただけます。

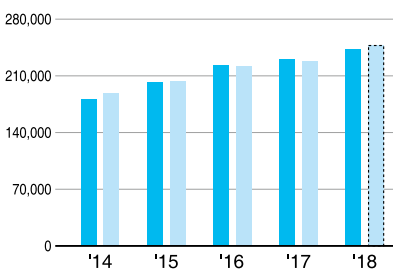


ご応募の締め切りは2018年8月3日(金) 当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

④ 親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産

